

【4】実践事例

———— 授業づくり ————

〔1〕小学部の生活単元学習の単元設定と展開について

(1) 生活単元学習の年間計画

本校小学部の生活単元学習の年間計画は表－5のとおりである。

表－5 小学部の生活単元学習の年間計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1組	みな なかよし	あかあ さん	なかよし しゅくはく	なつや すみの くらし		運 動	いもほり しゅくはく	学 習 発 表 会	ク リ ス マ ス 会	あみせやさんごっこ をしよう		6 年 生 を 送 る 会
2組	みな なかよし	あうちの ひとの じごと		た ま ば た み ず あ そ び しゅく はく		会	いもほり しゅくはく			ふゆのあそびを しよう		一年間の 思い出
3組	高学年に なつて	なかよし 番治		夏休 みの くらし			修学旅行			カルタを しよう		一年間の 思い出

(2) 児童がより主体的に活動に取り組めるよう、題材の選定においては次のような点を考慮している。

- ・ 児童の生活の中の興味や必要感から生まれ、さらに生活へ返していけるもの
- ・ 成功感や成就感を積み上げ発展していけるもの
- ・ 少しでも見通しがあり、意欲が湧き、主体的に活動できるもの
- ・ 友だちや先生と共感し合えるもの
- ・ 一人ひとりの個性を生かせるもの
- ・ 単元間や学年進行での系統性や発展性のあるもの

(3) 行事中心の単元を設定した理由

目的や方向性を持って一定期間を楽しみ切り、それを実際の生活に生かして使えるよう、小学部では特に行事中心の単元を多く取り入れている。行事は、季節やその時々の子どもの生活に密着したものが多く、目的や期間が明確になりやすいと考える。

(4) 合同学習とクラス学習との関連

本校小学部は全員で16名と小規模であるため、合同学習は1年生から6年生までが一緒に取り組んでいる。集団内における暦年齢や発達年齢にさらに開きはでるが、クラスの中では味わうことのできないダイナミックな活動や、より豊かなコミュニケーションが期待できる。また、合同学習で定着できない部分はクラス単位の学習で、それぞれのクラスの発達段階や個性に応じた指導を行う。単元の特徴に応じて、クラス学習と合同学習の関連を図りながら学習を深めている。

以下、小学部での生活単元学習における実践例をいくつかあげる。

(本城)